

「働く広場」9月号より注目
記事をご紹介します

正しい理解から始める、職場内の有効なサポート



「働く広場」2026年9月号

このたび、当機構より「働く広場」9月号を発行しました。

事業主・人事担当者の方々には、今号の「クローズアップ」(10～11ページ)をぜひ、ご一読ください。

先月号に引き続き、本特集では、障害のある従業員が安心して能力を発揮できる職場づくりのポイントについて、分かりやすく解説しています。特に今号では、「**企業が押さえておくべき基礎知識**」とともに、「**具体的な実践へのアプローチ**」について**ヒントが満載**です。障害のある従業員が採用後も安心して働き続け、自分らしく活躍できる**職場づくりにお役立てください**。

事業主が意識したいポイント

①障害名ではなく 「その人」を理解する

障害特性には一定の傾向があるものの、困りごとや強みは一人ひとり異なります。

- 「〇〇障害だから」と決めつけない
- 体調や環境の影響を考慮
- 本人の強みに着目

②合理的配慮は「特別扱い」ではない。

「能力を発揮するための環境調整である」と理解する。

- スタートラインを整える
- 働く上での障壁を除去
- 企業側の負担も考慮する

③「見える化」が安心につながる

「段差をなくす」等の物理的なものだけではなく、「仕事の進め方のバリアフリー化」を進める。

- 手順を時系列でまとめた作業手順書を作る
- 1日、1週間、1か月等のスケジュール表を作成

④小さな変化に気付く

上司や同僚による、「ちょっとした気づきを大事にする。

- 今日は、いつもより挨拶の声が小さい
- 作業の手が少し止まりがち

「何か困ってない？」その一言が精神的な安心感へ…

職場づくりのキーワード

「正しい理解」と「小さな配慮」



当センターでは、障害者雇用に関する起業の皆様のお悩み寄り添いながら、障害者雇用の第一歩を安心して踏み出していただけるよう、各種アドバイスや情報提供等、幅広いサポートを行っております。障害者雇用についてお困りの際は、当センターまでお気軽にご相談ください。

らしく、
はたらく、
ともに

JEED

佐賀障害者職業センター

電話：0952-24-8030

Email：saga-ctr@jeed.go.jp